

市民との意見交換会・報告書

開催地区：日新地区	開催日時：令和5年5月9日（火） 18時30分 ～ 20時15分
担当班：第5班（出席議員）古川雄一、後藤守江、村澤 智、大山享子、松崎 新	
開催場所：日新コミュニティセンター	
参加人数：男性 8名、女性 2名、合計 10名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 7名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 2月定例会議について	
・中心市街地の活性化について、市民から空き店舗が増えている現状を危惧され、商店街のイベントなどでの魅力の発信が必要であると意見があった。	
② 所管事務調査報告について	
・意見なし	
③ 日新地区のまちづくりに向けた課題について	
・猫の餌まきの問題が前回の意見交換会から出されているが、解決の意思が見えないと指摘があった。地域の課題だけではなく市の問題として、議会側も取り上げていくべきである。	
(2) 地区別テーマについての総括	
① 地区別テーマ	
子ども子育て支援の在り方について	
② テーマ設定の理由、背景	
・国は異次元の少子化対策として、様々な政策を打ち出してきた。会津若松市においても、少子化対策に取り組みはじめたが、子育ての環境が大きく変わってきている現状において、実際に子育て世代や現場の声を聞くことで様々な課題が見えてくると考えたことからテーマとして設定した。	
③ 主な地域課題	
・地区の子ども会の減少によって、子どもの活動が見えなくなった。町内会によっては、子ども会の復活をしていき旧町内とマンション住民との交流を深め、みんなで子どもを育てる必要があるといった意見があった。	
・こどもクラブの働き手の不足の問題を、こども園の園長より出された。市のこどもクラブの待機が問題であったが、運営事業者の職員不足の解決が必要である。	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	2月定例会議報告、所管事務調査経過の報告を行う				
中心市街地の活性化に対して、空き店舗が増えて いる。神明通りの中合やリオンドールが無くなり空 き地になっている。ますます寂びれてくると感じる。 活性化は生易しいものではないと思うが、議会 ではどのように対策を行っているのか。	市は、「第3期会津若松市中心市街地活性化基本 計画」を市民アンケートを基に策定した。その中で 市は、中心市街地活性化について市と商店街など関 係団体との視線がズレていたことに気づいた。議会 として、市民が買い物をする店がない、商店では、 後継者がいないために店を閉めなければならないな どの空き店舗の課題を認識している。中心市街地の 活性化に向けどのようにしたら活性化するのか議会 としても注視していきたい。	●	①		中心市街 地
魅力ある店が無くなってきたために、郊外の店舗 に行ってしまう。中心市街地が、お客をどうしたら 呼べるか知恵を出し、イベントなど考え魅力ある商 店にして行くべきである。市民として商店街が、何 とかならないのか心配をしている。	市は、商店街空き店舗誘致事業、商店街空き店舗 対策事業などで支援をしている。貴重なご意見をい ただき参考にしていきたい。	○	①		中心市街 地
前回の報告書を見たが、猫の餌まきのことで取り 上げていただいている。しかし住民としては手ごた えを感じない。当該する住民から猫の鳴き声がひど く、受験勉強が手につかないと言われ心を痛めてい る。この問題は、猫に餌まきをしている人が、いく ら注意しても止めない。議会は、どのように取り組 んでいるのか。取り組んでいないと思う。この要望 は2回目である。しっかり取り組んでいただきたい。	猫の餌まきについては、前の班から引き継ぎを受 けている。前の班が説明した「猫の餌まきを禁止す る等」の条例の件は議会では深まっていません。ま た、議会のどの機関で研究し取組んで行くことは話 し合っていません。今後の課題です。	○	①		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → 子ども子育て支援の在り方について

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの		
		処理状況		
		分類	番号	対応
	子ども子育て支援の在り方として、少子化・人口減少対策事業の予算化の説明を行う。日新地区の子育て参考例や、地域の中での子育て支援のご意見を教えていただきたい。			
子ども会の加入数が減少している。昨年は、児童数50人で、子ども会の会員が15名。今年は、3世帯5人になってしまい地域として危機感を持っている。今年は、町内会の子ども会の活性化をしていきたいと考えている。日新地区も30町内のうち子ども会が、11地区と聞いている。市の子ども会の実態と、子ども会の活性化をどうしたらよいかを聞きたい。	門田地区も子ども会がの活動は、コロナ過の中で45町内中5つか6つの活動になってきていると聞いている。コロナ禍で子ども会活動ができない状況であったが、子どもの好きなことを探して交流活動ができれば良いのではないかとアドバイスした。良い例としては、湊地区が少ない人数であっても、地域ごとの子ども会で盛んに活動している。	○	①	
昨年は、初めての試みで夏休み1週間を、町内会でラジオ体操を行った。ここに老人会にも声をかけ15名ほど集まった。市は、子ども会をどのように位置付けているのか。	子ども会の組織は教育委員会に所属し、補助金を出している任意組織である。その中で意見交換をしている。ユニークな地区である城北地区町内会は、子ども会のない他の町内会から子どもを誘い、子ども会の活性化をしている。	○	①	
昔は、小さい子どもから6年生まで集まって同じ遊びをして、上の子が下の子の面倒を見ることができていた。子ども会というものは無かったし、遊びながら、その中でいろいろなことを学んだ気がする。今は、子ども会という組織は作って、お前たちやれという感じで何もできない感じがする。	以前は、地域の中で交流を通して様々なことを経験することがあったように思われる。今、子どもが少なくなり、遊びもゲームになってきている。公園で遊んでいると「うるさい」とか「ボール遊びは、やるな」と言われてしまう。議会でも皆さんからいろいろな話を聞きながら、政策に展開できるよう考えていきたい。	○	①	
うちの町内も子ども会が、自然消滅したようだ。町内会では予算を組んでいるが、親も「活動ができないのでいらない」という。子どもの遊びも変わった。昔のような遊びをやれと言っても無理がある。	子ども会という組織の中で、多様な方々と交流することが大事であるが、役員の問題もあり組織を維持していくことが難しい。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 子ども子育て支援の在り方について

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの		
		処理状況		
		分類	番号	対応
子ども会が無くなる話であるが、私の町内会では、子ども会は7、8年前から休会になっていたが、子どもが5、6人になったので子ども会を作る方向で進んでいる。できれば予算を付けて、子どもをみんなで育てていける環境づくりが大事だと考える。マンション住人と旧町内の住民が、子どもを通して交流できれば、良い結果になると思う。	ありがとうございます。議会として見守ってまいりたい。	○	①	
日新小学校に朝から晩までボランティアとして関わりを持っている。その中で感じるが、今は、子どもより親が、時間のゆとりが無くなっている。少子化で子どもを大事にしているのかと思っていたが、そうではない。お父さんお母さんが忙しいからと、こどもクラブに預けているが、そうではないんじゃないか。もう少し両親にゆとりを持って子どもを見てあげるようになったら良いと思う。	経済的にゆとりがないと心もゆとりが無くなる。国、県、市に対しても経済的な支援を求めているが、皆さんからのご意見を伺って進めていきたい。	○	①	
学校においても教師にゆとりがない。副担任がいらないために先生が忙しすぎる。	先生のなり手がいないことによって、教育委員会全体と学校長の悩ましい所に来ている。講師の先生、SW（ソーシャルワーカー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）に対しての賃金が安いのでなり手がいない。賃金の問題を国、県、市と先生たちが、安定した生活を送ってもらい多忙化を減らすために、私たちが子どもたちに何ができるのか協議していかなければならないと感じる。地域の方々のお手伝いなどのボランティアに頼らざるを得ない状況である。我々も制度を含め、考えていかなければならない。	○	①	
昔、元総理大臣が、教員の給料を上げたために教育者として優秀な教員が集まった。今は、教員の給料が上がらないために、ITに優秀な人材が集まる。子ども手当を出しても、親は、給料が上がらないために、使ってしまうから意味がない。議員が改革しようとしても無理がある。もっといい知恵があるのではないか。	国、県、民間の役割がある。市においても、議会もこのままでは良いとは思っていない。子ども子育て支援を、お金をかけるところと、かけなくてよいところがあるので、皆さんの意見を伺い、知恵を絞り、住みよいまちを創っていきたい。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 子ども子育て支援の在り方について

		※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの		
市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	先生の給料は、県である。多忙化は事務補助員として市が、対応して補っている。議員がしっかり提案し進めていきたい。	○	①	
若松第2幼稚園の園長をしている。子育て支援というテーマで、どのような話があるのか参加した。園では0歳から子どもクラブ6年生まで見ている。悩みは働き手が集まらないことが第一の問題である。子どもクラブの募集をハローワークなどをお願いしているが、集まらない状況である。職員は、子どもと接することに安らぎを感じる方もいるが、親御さんが忙しいために交流がうまくできずに、問題を抱えてしまう。障がい児も増えてきているので、人手が不足している状況にある。	現場の実情を伺えてよかった。子どもクラブの事業者の抱える課題は、大きいと議会も理解している。議会でのようなことができるのか話し合いたい。	○	①	
この問題は、人口減少です。人口が増えない。出生率より死亡率が多いから人口が増えない。若い方がまちから出て行ってしまい帰ってこない。年寄だけが残ってしまう。人口を増やす努力をしていかないと子どもは増えない。市は、全国的に観光地で良い所だと思う。企業を持ってきて若者を定着させるようにしてもらいたい。	議会全体で、少子化、まちづくりの中で働く場所を含め考えていかなければならない。	○	①	
日新地区では、各種団体の人が集まって意見交換会をする。担当者は具体的に子どものことをしっかりと取り組んでいる。	3、4か月に一度各種団体の意見交換会で、様々な地域の状況を話し合っていることはすごいことだと感心する。	○	①	
会津若松市の人口が、あと25、6年で7万人になると言われているが本当か。	毎年1,000人位減っている。何とか食い止められるよ取り組んでいきたい。	○	①	